

育てよう 鏡野のよい子シリーズ



「情報機器と子供達」

iPhoneが初めて登場したのは2007年、13年前のことである。つまり、今の小学生が生まれたときからiPhoneは存在していたということだ。現在、スマートフォンやタブレット(以下、情報機器)は私たちの生活から切り離すことのできないものとなっている。子供の教育において、情報機器の使用時間を減らすことはとても大切であり、学校や家庭で努力をしている。しかし同時に、大人達は子供達に、情報機器の正しい使い方や知識を教える必要がある。

以前は、携帯電話や家電などを購入すると、とても分厚い取扱説明書が付いていた。目次で知りたいことを探して、難しい文章を読んで、使い方を理解していった。対して、近年の説明書には、「絵だけ」のものがある。それでも情報機器になれている人は感覚的に理解することができる。また、説明書は同封されず、「インターネットで閲覧できる」ものもある。つまり、情報機器を使うことができることは前提なのである。

情報機器を子供に使用させるときには、フィルタリング機能がある。時間や閲覧できるサイトを設定できて安心である。しかし、子供は「抜け穴」を見つけ出す。例えば、YouTubeのアプリに制限をかけたとしても、LINEからURLを開くと、YouTubeのアプリを介さずにサイトを閲覧できる。フィルタリングを設定したからといって、全てを防ぐことができるわけではないのだ。

今の子供達が仕事に就く頃、情報機器は、より進化し複雑になっているだろう。そして、適切に取り扱うことができなければ、生活に影響が出る社会になっているだろう。そうした情報機器を子供達が適切に取り扱うためには、まずは大人達が正しい使い方と知識を身に付けておかなければならない。大人も、子供達と一緒に情報機器を使い、「何が危険か」、そして「何が危険か」を勉強していくべきではないか。

鏡野町生徒指導推進連絡協議会

大野小学校 青木 壮太

のびのびひろば

お店屋さんごっこ大好き☆

ジュースをつくらう!



このだんごください!



ほくもはこぶで!

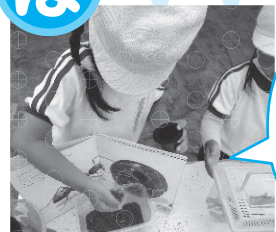


おとどけしま〜す



4月から好きな遊びをじっくり楽しんできた子ども達。するといつの間にか「いらっしやい!いらっしやい!」と子ども達の元気そうな声が響き渡り、だんご屋さんとジュース屋さんが開店しました。その後、新たに虫屋さんが開店し友達同士で考えを出し合ったり、工夫したりしてお店屋さんごっこを楽しんでいます。

たいせつに
そだててね



園庭で沢山見つけただんごむし。店員さんがカップに入れてくれ、丁寧に飼い方を教えてくださいました。てんとうむしはケースをもって散歩ができるそうです!

スープも
あるよ!



Oくんと
あそんだ



今日の遊びを振り返っています。

(香南保育園)